

試験運用発表

平成25年10月15日
国土交通省中部地方整備局
三峰川総合開発工事事務所

お知らせ

1. 件名 美和ダム土砂バイパス施設による放流・排砂について（最終報）
2. 概要 9月16日午後13時から9月17日午後14時まで、美和ダムの土砂バイパス施設（平成17年度完成）の試験運用（放流・排砂）を行いました。
- この施設は、美和ダム貯水池への堆砂を抑制するとともに、ダム地点における土砂移動の連続性を確保するための施設です。（全国の直轄ダムで初めての施設です。）
- 土砂バイパス施設は、貯水池上流において、粗い土砂を堰き止める分派堰と、美和ダム貯水池を迂回して土砂を下流に流すための土砂バイパストンネルなどで構成されています。
- 今回の試験運用は、美和ダム地点で、最大流入量が244m³/sの出水を、美和ダム貯水池への土砂流入を抑制するとともに土砂移動の連続性を確保するため、土砂バイパストンネルから最大179m³/sの放流を行いました。
- その結果、美和ダムに流入する土砂（ウォッシュロード）の51%にあたる、約8千m³を美和ダムの下流へバイパスすることができました。

注意：ここに表示されているデータは速報値です。

3. 資料 別添のとおり

4. 問い合わせ先 国土交通省中部地方整備局 三峰川総合開発工事事務所
〒396-0402 伊那市長谷溝口1527
副所長 片桐 弘幸（かたぎり ひろゆき）
調査課長 大森 秀人（おおもり ひでと）
TEL 0265（98）2922
FAX 0265（98）2369

美和ダム 土砂バイパスの試験運用速報

バイパス放流の速報

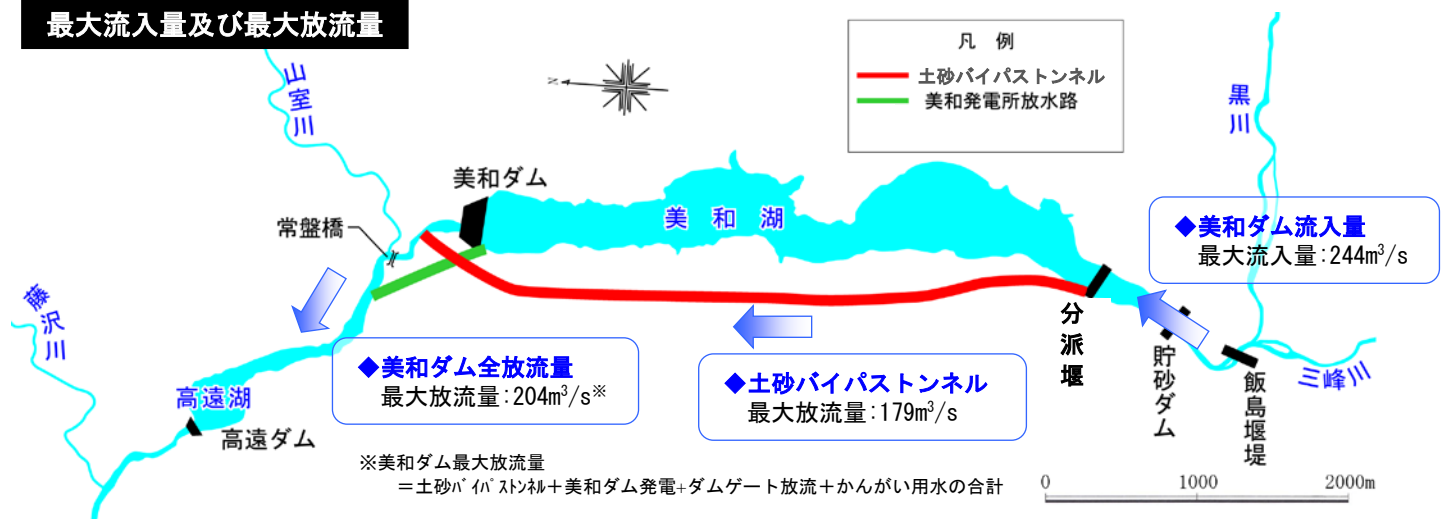
注) ここに表示されているデータは速報値です。

美和ダムでは、総雨量122.5mm (2013/9/14 16:00~9/16 13:00) の雨が降り、最大流入量が244m³/sの出水となりました。このため、2013/9/16 13:00~9/17 14:00の25時間、美和ダム貯水池への土砂流入を抑制するとともに土砂移動の連続性を確保するため、土砂バイパストンネルから最大179m³/sの放流を行いました。

【速報値】

土砂バイパス最大放流量	: 179 m ³ /s (2013/9/16 14:48)
美和ダム最大放流量*	: 204 m ³ /s (2013/9/16 14:48)
美和ダム最大流入量	: 244 m ³ /s (2013/9/16 13:52)
総雨量 (流域平均)	: 123 mm (2013/9/14 16:00~9/16 13:00)

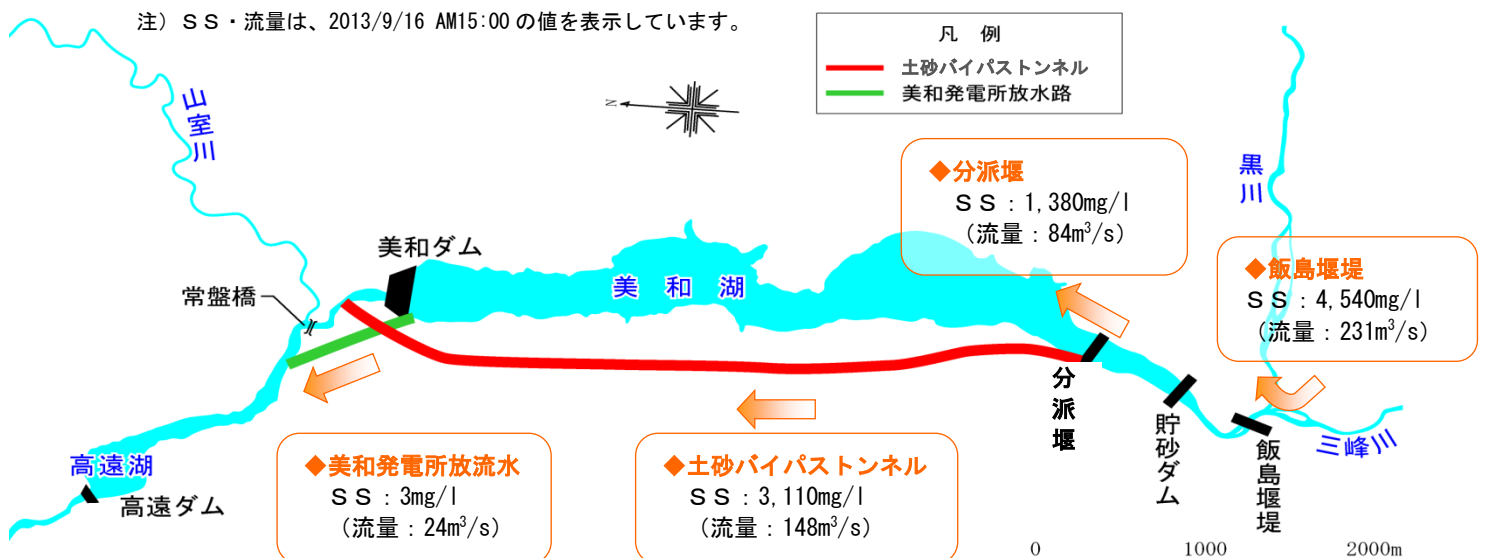
最大流入量及び最大放流量



出水時の濁り (SS) の状況

今回の出水で観測されたSS^{*}は、上流の飯島堰堤から流入してきた水で4,540mg/l、土砂バイパストンネルからの放流水で3,110mg/l、分派堰越流で1,380mg/l、美和発電放流水で3mg/lであり、土砂バイパストンネルの運用により流入土砂が美和湖に入らず、バイパスされる状況を確認できました。

注) SS・流量は、2013/9/16 AM15:00の値を表示しています。



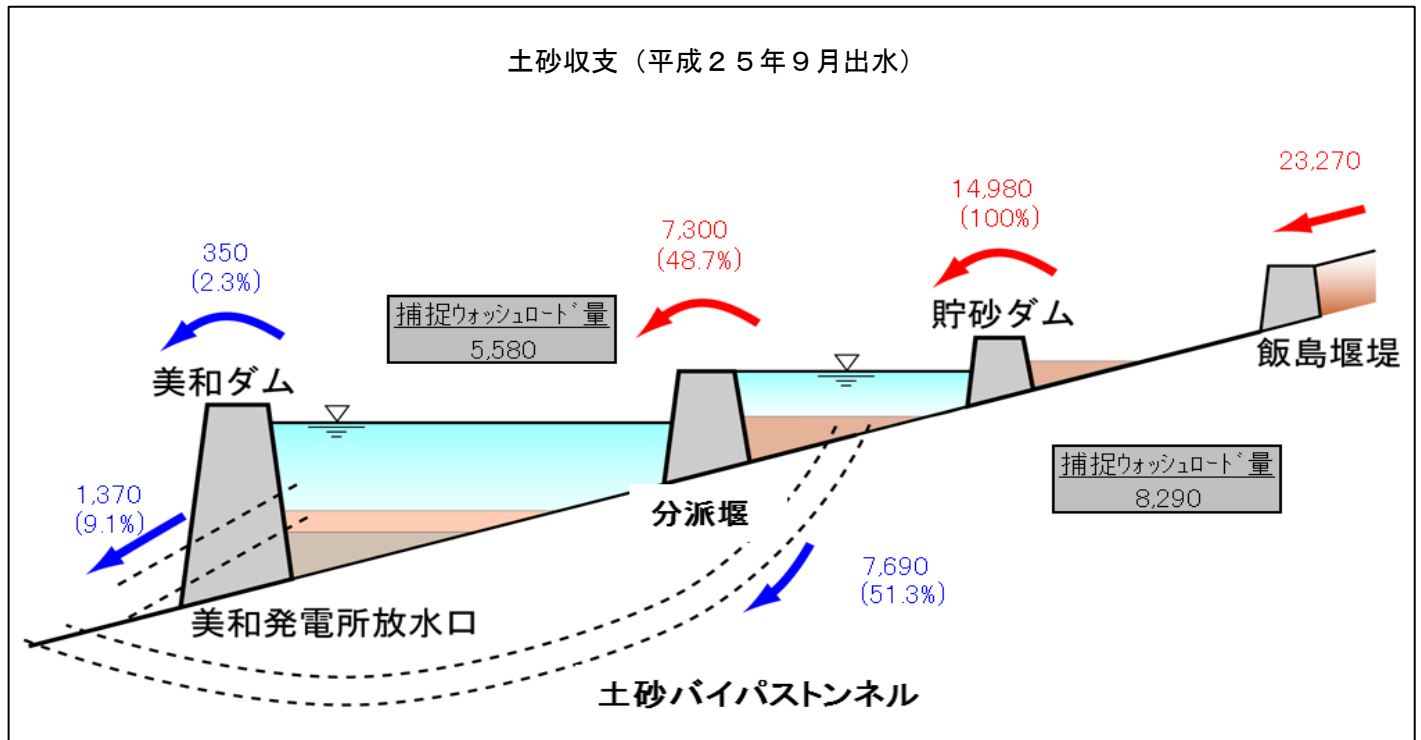
< 語句説明 >

*SS (浮遊物質) …SSとは、水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶解性の粒子状物質の濃度のこと、水の濁りの度合いを表す指標として用いられています。

土砂(ウォッシュロード)の動き (平成 25 年 9 月出水)

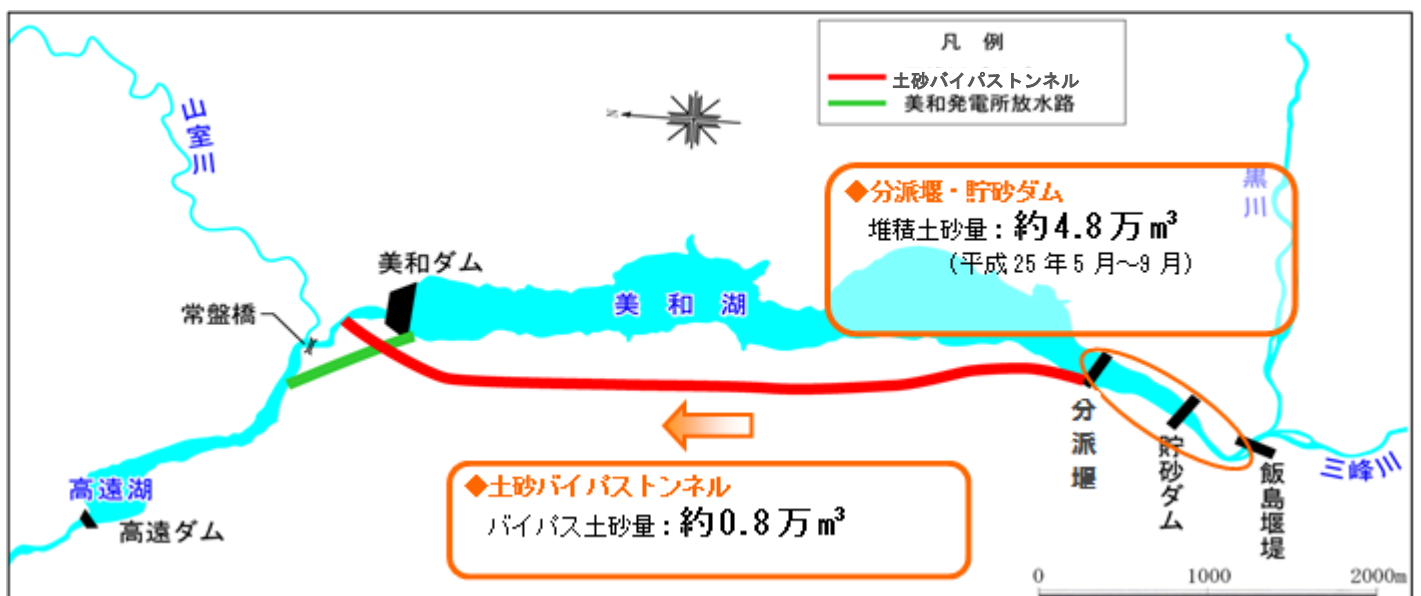
美和ダムに、流入した土砂(ウォッシュロード)の51%にあたる約0.8万m³を美和ダムの下流へバイパスすることができました。

単位：m³



堆砂対策施設により約 5.6 万 m³ の土砂流入を抑制

今回の試験運用では約0.8万m³の土砂を下流へバイパスしました。さらに、平成25年5月～9月の間に貯砂ダム・分派堰で砂利や砂など約4.8万m³を捕捉しました。これらの土砂は、堆砂対策施設完成以前は美和湖へ流入していたもので、以前に比べ合計で約5.6万m³の土砂流入を防いだこととなります。



注1) バイパスを通過した土砂量は、各地点で測定したSSデータと流量データから算定しました。

注2) 三峰堰・貯砂ダムの堆砂量は、平成25年5月と9月(出水後)の堆砂測量結果及び砂利採取量から算定しました。